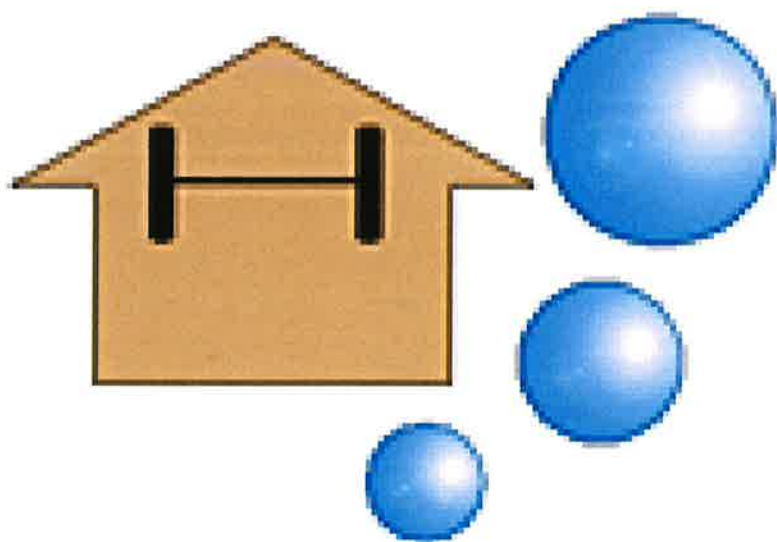


2024年度版

エコアクション21

環境経営レポート

発行日 2024年6月17日
(対象期間 2023年5月～2024年4月)



(株)濱田水道工業

高知市南ノ丸町5-7

目 次

1. 組織の概要	1
2. 対象範囲(認証・登録範囲)、レポートの対象期間及び発行日	2,3
3. 環境経営方針	4
4. 環境管理組織体制	5
5. 環境経営目標	6
6. 環境経営計画	7
7. 環境経営目標の実績	8,9
8. 環境経営計画の取組結果とその評価	10
9. 次年度の取組内容	
(1)環境経営目標	11
(2)環境経営計画	12
10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	13
11. 代表者による全体評価と見直しの結果	14
12. 環境活動の取組状況	15,16,17

1. 組織の概要

【事業所名】 株式会社 濱田水道工業

【代表者氏名】 代表取締役 濱田 啓志

【所在地】 ・本 社(〒780-8016 高知市南ノ丸町5番地7)
・春野資材置場(〒781-0311 高知市春野町芳原562-1)
・長浜資材置場(〒781-0270 高知市長浜字西並松4444-3、-20)

【環境管理責任者氏名及び担当者連絡先】

環境管理責任者氏名

濱田 啓志

連絡先担当者

川添 雅夫

連絡先

TEL: 088-831-0270

FAX: 088-831-0208

E-mail: kawazoe@hamada-sa.co.jp

【事業活動】 上下水道工事、機械設備工事、リフォーム工事の公共及び民間工事

建設業許可番号

高知県知事 一般・特定 3 第 4268号

許可年月日

令和3年 8月 2日

建設業の種類

土木工事業、管工事業、水道施設工事業、ほ装工事業
とび・土工工事業、建築工事業、鋼構造物工事業
屋根工事業、内装仕上工事業、消防施設工事業、大工工事業
機械器具設置工事業、タイル・れんが・ブロック工事業
産業廃棄物収集運搬業(許可番号03900114084)

種類: がれき類、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、廃プラスチック類、金属くず、紙くず、木くず、繊維くず、汚泥(無機性の無害なものに限る)、ゴムくず
自社施工分のみ運搬

【事業規模】

設立年月日

1980年 1月23日

資本金

2,000万円

項 目	2021.5～2022.4	2022.5～2023.4	2023.5～2024.4
工事等の件数	585	468	562
売上高(百万円)	557	401	419
従業員数(人)	18	18	17
本社 敷地面積(㎡)	165	165	165
本社 床面積(㎡)	11193	11193	111.93
春野資材置場敷地面積(㎡)	575	575	575
長浜資材置場敷地面積(㎡)	598	596	598

会計年度

5月 ～ 4月

2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

【対象範囲（認証・登録範囲）】

対象事業所 株式会社濱田水道工業 全社

・本 社(〒780-8016 高知市南ノ丸町5番地7)

・春野資材置場(無人、〒781-0311 高知市春野町芳原562-1)

・長浜資材置場(無人、〒781-0270 高知市長浜字西並松4444-3、-20)

事業活動 上下水道工事、機械設備工事、リフォーム工事の公共及び民間工事

【レポートの対象期間】

2023年5月～2024年4月

【環境経営レポートの発行日】

2024年6月17日

【作成責任者】

環境管理責任者

濱田 啓志

【次回環境経営レポートの発行日】

2025年6月予定

対象となる持続可能な開発目標（SDGs）範囲

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs NO.	項目	当社対象有無	備考
1	貧困をなくそう		オーガニック
2	飢餓をゼロに		オーガニック、フェアトレード
3	すべての人に健康と福祉を		高齢者雇用
4	質の高い教育をみんなに		環境教育の実施
5	ジェンダー平等を実現しよう		障害者雇用
6	安全な水とトイレを世界中に		水道使用、節水、雨水利用
7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	○	再生可能エネルギー使用
8	働きがいも経済成長も		高齢者雇用、障害者雇用
9	産業と技術革新の基盤をつくろう		低燃費、長寿命化、環境負荷低減
10	人や国の不平等をなくそう		高齢者雇用、障害者雇用
11	住み続けられるまちづくりを	○	CO2 削減、エコドライブ
12	つくる責任つかう責任	○	コピー用紙削減、環境配慮工事
13	気候変動に具体的な対策を	○	CO2 削減、省エネ、環境配慮工事
14	海の豊かさを守ろう		下水道、排水処理の場合
15	陸の豊かさを守ろう		緑化、植林、社有林の保全
16	平和と公正をすべての人に		寄付、環境教育
17	パートナーシップで目標を達成しよう		寄付、環境教育

3. 環境経営方針

『環境経営理念』

公共工事業、リフォーム工事業を通じて、この大地、資源を大切にし、進み行く地球温暖化の進行を止めるべく、事業活動を通じ創意工夫して、全社一丸となって、自主的かつ積極的に環境負荷低減に努め、継続的な改善による環境経営を推進します。

『行動計画』

1. 環境負荷を低減するために以下の取り組みを行います。
 - 1) 水道の節水、節電による二酸化炭素排出量の削減
 - 2) 自動車燃料の削減による二酸化炭素排出量の削減
 - 3) 廃棄物の排出量を分別の徹底及び再資源化により削減
 - 4) エコ機器(グリーンモデル)への取替による二酸化炭素排出量の削減
 - 5) グリーン購入の促進
 - 6) 環境に配慮した工事の取り組み
 - 7) 環境負荷の少ない資材の利用促進
2. 環境関連法規制を遵守し、環境に配慮した事業活動に取り組みます。
3. 全社員に環境経営方針の周知を図り、事業活動を行います。
4. 取引先様と連携を図り、環境経営レポートなど環境情報（省エネ・経済性等効果を表す指標）を外部公表し、環境改善を促進していきます。

制定日 2011年 9月27日

改定日 2017年 5月1日

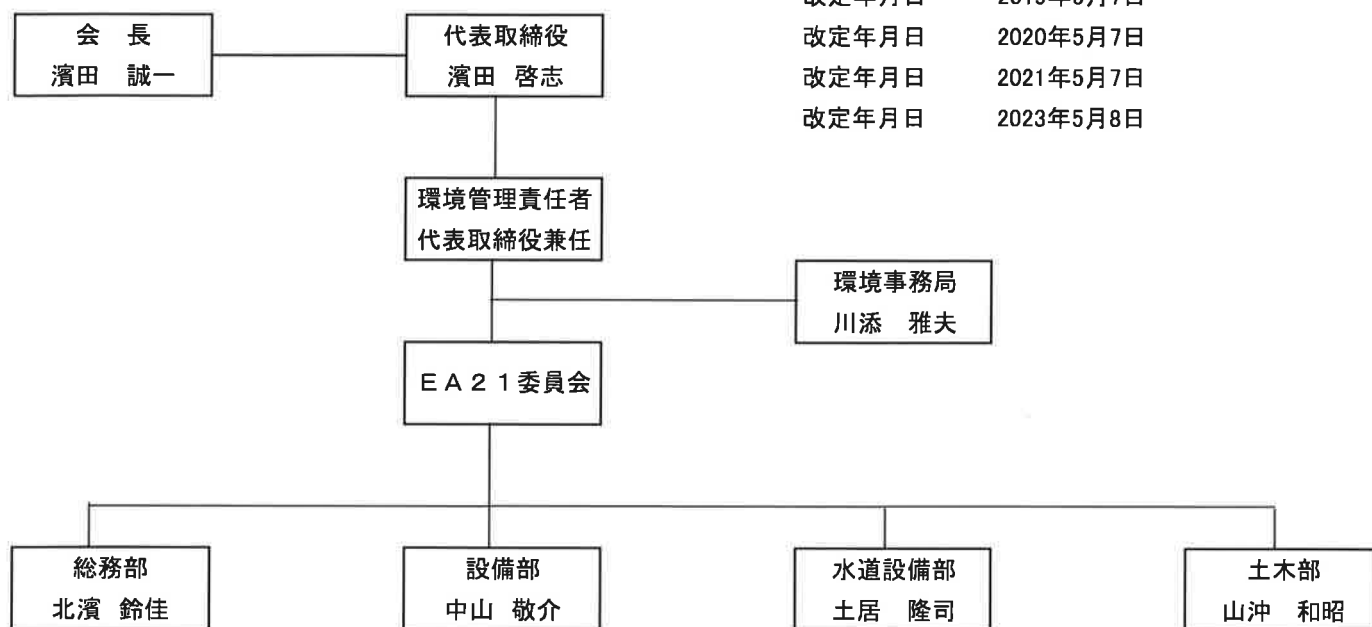
改定日 2019年 5月7日

改定日 2021年 5月7日

株式会社 濱田水道工業

代表取締役 濱田啓志

4. 環境管理組織体制



制定年月日 2011年9月27日
 改定年月日 2017年5月1日
 改定年月日 2019年5月7日
 改定年月日 2020年5月7日
 改定年月日 2021年5月7日
 改定年月日 2023年5月8日

環境管理システム 役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表取締役	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システム実施に必要な人、設備、費用、時間、技能・技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標、環境経営計画、環境管理組織体制の承認 ・代表者による全体評価と見直し実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者 代表取締役兼任	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標、環境経営計画、環境管理組織体制の確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、E A 2 1 委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画、環境管理組織体制原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開
部門長	・自部門における環境経営方針の周知、従業員への環境教育訓練実施 ・自部門に係る環境経営計画の実施、達成状況報告 ・自部門に係る緊急事態訓練の実施 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

5. 環境経営目標

(2023年度)

(1) 単年度目標

項目		単位	基準年2011年度 2011. 5-2012. 4 (売上高300百万円)	2023年度 目標 2022. 5-2023. 4
二酸化炭素排出量(*)	総量	kg-CO ₂	47,222	—
	原単位	kg-CO ₂ /百万円	157.4	156.3
電力使用量(購入電力)(*)	総量	kWh	12,960	—
	原単位	kWh/百万円	43.2	40.1
化石燃料(軽油)使用量	総量	ℓ	6,674	—
	原単位	ℓ/百万円	22.2	21.7
化石燃料(ガソリン)使用量	総量	ℓ	9,958	—
	原単位	ℓ/百万円	33.2	32.6
水使用量	総量	m ³	124	—
	原単位	m ³ /百万円	0.41	0.40
産業廃棄物排出量	排出量	t	956 (H24~29年の平均)	—
	原単位	t/百万円	2.7 (H24~29年の平均)	2.7
	再資源化率	%	100	97
一般廃棄物排出量		t	0.73 (H24.5~H25.4)	0.73
グリーン製品の購入		%	35 (H24~29年の平均)	35
環境に配慮した工事		件	全件(60件/60件)	全件
エコ機器の取扱		件	53 (H24.5~H25.4)	54

- ・購入電力のCO₂調整後排出係数は2020年1月7日公表の四国電力の調整後排出係数0.528(kg-CO₂/kWh)を使用した。
- ・グリーン購入率=グリーン商品購入費/事務用品総購入費×100%
- ・環境に配慮した工事(請負金額が100万円以上の物件): 低振動・低騒音・省エネ型の機械を使用した工事である。
- ・エコ機器取扱件数のエコ機器とはエコート、節水型便器、LED照明などである。
- ・春野資材置場は、2016年にBCPの対応拠点となり機器を増設したため電力使用量の基準年は2016年度とした。それに伴い二酸化炭素排出量も見直した。(*)
- ・CO₂排出量、電力量、化石燃料、水、産廃の環境目標値は原単位(売上百万円)で策定した。

(2) 中長期目標

項目		単位	基準年2011年度 2011. 5-2012. 4 (売上高300百万円)	2023年度 目標 2022. 5-2023. 4	2024年度 目標 2023. 5-2024. 4	2025年度 目標 2024. 5-2025. 4	2026年度 目標 2025. 5-2026. 4
二酸化炭素排出量(*)	総量	kg-CO ₂	47,222	—	—	—	—
	原単位	kg-CO ₂ /百万円	157.4	156.3	156.2	156.1	156.1
電力使用量(購入電力)(*)	総量	kWh	12,960	—	—	—	—
	原単位	kWh/百万円	43.2	40.1	40.0	39.9	39.9
化石燃料(軽油)使用量	総量	ℓ	6,674	—	—	—	—
	原単位	ℓ/百万円	22.2	21.7	21.7	21.5	21.5
化石燃料(ガソリン)使用量	総量	ℓ	9,958	—	—	—	—
	原単位	ℓ/百万円	33.2	32.6	32.5	32.4	32.4
水使用量	総量	m ³	124	—	—	—	—
	原単位	m ³ /百万円	0.41	0.40	0.40	0.40	0.40
産業廃棄物排出量	排出量	t	956 (H24~29年の平均)	—	—	—	—
	原単位	t/百万円	2.7 (H24~29年の平均)	2.7	2.7	2.7	2.7
	再資源化率	%	100	97	97	97	97
一般廃棄物排出量		t	0.73 (H24.5~H25.4)	0.73	0.73	0.73	0.73
グリーン製品の購入		%	35 (H24~29年の平均)	35	35	35	35
環境に配慮した工事		件	全件(60件/60件)	全件	全件	全件	全件
エコ機器の取扱		件	53 (H24.5~H25.4)	54	54	54	54

6. 環境経営計画

期間：2023年5月 ～2024年4月

項目		活動内容	担当者	期間
CO ₂ 排出量削減	燃料使用量	○アイドリングストップ、急加速、急停車をしない	高橋 靖	2023. 5-2024. 4
	削減	○車両の整備、常時車載物の減量、空気圧のチェックを行う		2023. 5-2024. 4
		○同一現場には乗合で行く		2023. 5-2024. 4
		○1.5 tトラックを排ガスや燃費が向上した車両に取り替える		2023. 5-2024. 4
	電力使用量	○事務室の室温管理（冷房：28℃ 暖房：20℃）	濱田 幸代	2023. 5-2024. 4
	削減	○不必要な照明の消灯、空調の停止		2023. 5-2024. 4
		○長時間使用しないパソコン等電子機器を電源OFF		2023. 5-2024. 4
		○最終帰宅者が事務所、パソコンの電源確認		2023. 5-2024. 4
		○デスクトップパソコン4台を省エネタイプのノートパソコンに取り替える		2023. 5-2024. 4
	用水使用量削減 (排水量削減)		川添 雅夫	○洗車時のバケツの使用の励行
		○こまめに蛇口を閉める		2023. 5-2024. 4
		○漏水点検(漏水シールの貼付)		2023. 5-2024. 4
		○洗車は可能な限り雨水や井戸水でおこなう		2023. 5-2024. 4
廃棄物削減	一般廃棄物	○裏紙使用の実施	森岡 由華	2023. 5-2024. 4
		○新聞・両面使用済の紙処理は、古紙再生事業所へ		2023. 5-2024. 4
		○ゴミは各自で持ち帰り処分する		2023. 5-2024. 4
		○印刷前チェックによりミスコピーを削減する		2023. 5-2024. 4
	産業廃棄物	○廃棄物を徹底して分別する	土居 隆司	2023. 5-2024. 4
		○産業廃棄物ではできるだけ再資源化処理業者に委託し、再使用及び再生使用を推進する		2023. 5-2024. 4
				2023. 5-2024. 4
グリーン製品の購入		○消耗品などの使用は、エコ製品を優先して使用	北濱 鈴佳	2023. 5-2024. 4
環境に配慮した工事		○工事中の騒音・振動・粉じん・濁水の抑制に努める	山沖 和昭	2023. 5-2024. 4
		○低騒音型・排出ガス対策型の機械の使用		2023. 5-2024. 4
エコ機器(エコキュート、節水型便器、LED照明など)の取扱		○エコ機器の販売を月に3件以上にする		2023. 5-2024. 4
		○リフォーム工事においてエコ機器の設置をご提案する		2023. 5-2024. 4
社会貢献活動		○公共交通エコポイント活用社会還元事業に参加する	森岡 由華	2023. 5-2024. 4
		○ロードボランティアに参加する		2023. 5-2024. 4
		○こうち環境博に協賛		2023. 5-2024. 4

7. 環境経営目標の実績

(1) 本年度の実績

項 目		単位	基準値 2011年度 2011.5-2012.4	2023年度 目標 2023.5-2024.4	2023年度 実績 2023.5-2024.4	目標と実績 の差	達成率 (%)	評価
二酸化炭素排出量	総量	kg-CO ₂	47,222	—	39,127	—	—	—
	原単位	kg-CO ₂ /百万円	157.4	156.3	93.3	-63.0	-40%	○
電力使用量(購入電力)	総量	kWh	12,960	—	8,353	—	—	—
	原単位	kWh/百万円	43.2	40.1	19.9	-20.2	-50%	○
化石燃料(軽油)使用量	総量	ℓ	6,674	—	5,695	—	—	—
	原単位	ℓ/百万円	22.2	21.7	13.5	-8.2	-38%	○
化石燃料(ガソリン)使用量	総量	ℓ	9,958	—	8,630	—	—	—
	原単位	ℓ/百万円	33.2	32.6	20.5	-12.1	-37%	○
水使用量	総量	m ³	124	—	113	—	—	—
	原単位	m ³ /百万円	0.41	0.40	0.26	-0.14	-35%	○
産業廃棄物	排出量	t	956 (H24~ 29年の平均)	—	1720	—	—	—
	原単位	t/百万円	2.7 (H24~ 29年平均)	2.7	4.1	1.4	52%	×
	再資源化率	%	100	97	99.5	2.5	3%	○
一般廃棄物排出量		t	0.73 (H24.5 ~H25.4)	0.73	0.39	-0.34	-47%	○
グリーン製品の購入		%	35 (H24~ 29年平均)	35	30	-5	-14%	×
環境に配慮した工事		件	全件 (60件/60件)	全件	全件(70/70)	0	0%	○
エコ機器の取扱		件	53 (H24.5~ H25.4)	54	70	16	30%	○

1. 購入電力のCO₂調整後排出係数は2020年1月7日公表の四国電力の調整後排出係数0.528(kg-CO₂/kWh)を使用した。

2. 達成率=[(実績値/目標値)-1]×100 (%)

3. 評価 達成 ○、未達成 ×

4. 環境に配慮した工事は、請負金額が100万円以上の物件を対象とする。(統計値がとりにくい為)

5. CO₂排出量、電力量、化石燃料、水使用量、産業廃棄物の排出量は原単位(売上百万円)で策定した。

6. 今期は売上高が多かったのでほとんどの原単位の数値が低下しました。

産業廃棄物の再資源化率が悪かったのは、今期は施設の改修工事を多く受注し再資源不可能廃棄物が大量に発生したためです。

一般廃棄物が増えたのは、カタログや過去の伝票類を大量に処分したために搬出量が増えました。

グリーン製品の購入については、必要な品物にグリーン製品が少なかったため目標を達成できませんでした。

(2) 過去3年間の環境経営目標の実績

項 目		単位	2021年度		2022年度		2023年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績
二酸化炭素排出量	総量	kg-CO ₂	—	50,064	—	45,285	—	39,127
	原単位	kg-CO ₂ /百万円	156.7	89.9	156.7	112.9	156.3	93.3
電力使用量(購入電力)	総量	kWh	—	10,146	—	8,839	—	8,353
	原単位	kWh/百万円	41.1	18.2	41.1	22.0	40.1	19.9
化石燃料(軽油)使用量	総量	ℓ	—	7,624	—	7,429	—	5,695
	原単位	ℓ/百万円	21.9	13.7	21.9	18.5	21.7	13.5
化石燃料(ガソリン)使用量	総量	ℓ	—	10,793	—	9,246	—	8,630
	原単位	ℓ/百万円	32.8	19.4	32.8	23.1	32.6	20.5
水使用量	総量	m ³	—	112	—	97	—	113
	原単位	m ³ /百万円	0.41	0.20	0.41	0.24	0.40	0.26
産業廃棄物	排出量	t	—	202	—	1870	—	1720
	原単位	t/百万円	2.7	0.4	2.7	4.7	2.7	4.1
	再資源化率	%	97	92	97	99	97	99.5
一般廃棄物排出量		t	0.73	0.90	0.73	0.39	0.73	0.39
グリーン製品の購入		%	35	26	35	30	35	30
環境に配慮した工事		件	全件	全件(73/73)	全件	全件(70/70)	全件	全件(70/70)
エコ機器の取扱		件	54	55	54	70	54	70

(3) CO₂排出量の推移

項 目	単位	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
売上高	百万円	300	307	340	441	300	325
CO ₂ 排出量	t-CO ₂	47.2	46.9	45.6	41.4	37.3	40.8
売上高百万円当たりのCO ₂ 排出量原単位	kg-CO ₂ /百万円	157	153	134	94	124	126

項 目	単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
売上高	百万円	457	266.3	305	447	557	401
CO ₂ 排出量	t-CO ₂	58.1	41.9	45.8	44.1	50.1	45.3
売上高百万円当たりのCO ₂ 排出量原単位	kg-CO ₂ /百万円	127	157	150	98.7	89.8	81.0

項 目	単位	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
売上高	百万円	419					
CO ₂ 排出量	t-CO ₂	39.1					
売上高百万円当たりのCO ₂ 排出量原単位	kg-CO ₂ /百万円	93					

8. 環境経営計画の取組結果とその評価

期間：2023年5月 ～2024年4月

項目		活動内容	取組結果（○実施、△不十分、×未実施）					見直し
			5～7月	8～10月	11～1月	2～4月	評価	
CO ₂ 排出量削減	燃料使用量削減	○アイドリングストップ、急加速、急停車をしない					個々の活動は概ね実施できている。	継続
		○車両の整備、常時車載物の減量、空気圧のチェックを行う	○	○	○	○		
		○同一現場には乗合で行く						
		○1.5tトラックを排ガスや燃費が向上した車両に取替						
	電力使用量削減	○事務室の室温管理（冷房：28℃ 暖房：20℃）					個々の活動は概ね実施できている。	継続
		○ unnecessary 照明の消灯、空調の停止						
		○長時間使用しないパソコン等電子機器を電源OFF	○	○	○	○		
		○最終帰宅者が事務所、パソコンの電源確認						
		○デスクトップパソコン4台を省エネタイプのノートパソコンに取り替える						
用水使用量削減 （排水量削減）		○洗車時のバケツの使用の励行					個々の活動は概ね実施できている。	継続
		○こまめに蛇口を閉める	○	○	○	○		
		○漏水点検（漏水シールの貼付）						
		○洗車は可能な限り雨水や井戸水でおこなう						
廃棄物削減	一般廃棄物	○裏紙使用の実施					個々の活動は概ね実施できている。	継続
		○新聞・両面使用済の紙処理は、古紙再生事業所へ	○	○	○	○		
		○ゴミは各自で持ち帰り処分する						
		○印刷前チェックによりミスコピーを削減する						
	産業廃棄物	○廃棄物を徹底して分別する	○	○	○	○	個々の活動は概ね実施できている。本年度は産廃の多い工事が多く排出量が増えた。	継続
		○産業廃棄物はできるだけ再資源化処理業者に委託し、再使用及び再生使用を推進する						
グリーン製品の購入		○消耗品などの使用は、エコ製品を優先して使用	○	○	○	○	可能な限りグリーン製品を購入するようにします。	より厳しく継続
環境に配慮した工事		○工事中の騒音・振動・粉じん・濁水の抑制に努める	○	○	○	○	個々の活動は実施できている。	継続
		○低騒音型・排出ガス対策型の機械の使用						
エコ機器（エコキュート、節水型便器、LED照明など）の取扱		○エコ機器の販売を月に3件以上にする	○	○	○	○	個々の活動は実施できている。	継続
		○リフォーム工事においてエコ機器の設置をご提案する						
社会貢献活動		○公共交通エコポイント活用社会還元事業に参加する					これからも社会貢献活動には積極的に参加します。	継続
		○ロードボランティアに参加する	○	○	○	○		
		○こうち環境博に協賛						

9. 次年度の取組内容

(1) 環境経営目標

(1) 単年度目標

項目		単位	基準年2011年度 2011. 5-2012. 4 (売上高300百万円)	2024年度 目標 2024. 5-2025. 4
二酸化炭素排出量(*)	総量	kg-CO ₂	47,222	—
	原単位	kg-CO ₂ /百万円	157.4	156.2
電力使用量(購入電力)(*)	総量	kWh	12,960	—
	原単位	kWh/百万円	43.2	40.0
化石燃料(軽油)使用量	総量	ℓ	6,674	—
	原単位	ℓ/百万円	22.2	21.6
化石燃料(ガソリン)使用量	総量	ℓ	9,958	—
	原単位	ℓ/百万円	33.2	32.5
水使用量	総量	m ³	124	—
	原単位	m ³ /百万円	0.41	0.40
産業廃棄物排出量	排出量	t	956 (H24~29年の平均)	—
	原単位	t/百万円	2.7 (H24~29年の平均)	2.7
	再資源化率	%	100	97
一般廃棄物排出量		t	0.73 (H24. 5~H25. 4)	0.73
グリーン製品の購入		%	35 (H24~29年の平均)	35
環境に配慮した工事		件	全件(60件/60件)	全件
エコ機器の取扱		件	53 (H24. 5~H25. 4)	54

- ・ 購入電力のCO₂調整後排出係数は2020年1月7日公表の四国電力の調整後排出係数0.528(kg-CO₂/kWh)を使用した。
- ・ グリーン購入率=グリーン商品購入費/事務用品総購入費×100%
- ・ 環境に配慮した工事(請負金額が100万円以上の物件): 低振動・低騒音・省エネ型の機械を使用した工事である。
- ・ エコ機器取扱件数のエコ機器とはエコキュート、節水型便器、LED照明などである。
- ・ 春野資材置場は、2016年にBCPの対応拠点となり機器を増設したため電力使用量の基準年は2016年度とした。それに伴い二酸化炭素排出量も見直した。(*)
- ・ CO₂排出量、電力量、化石燃料、水、産廃の環境目標値は原単位(売上百万円)で策定した。

(2) 中長期目標

項目		単位	基準年2011年度 2011. 5-2012. 4 (売上高300百万円)	2024年度 目標 2024. 5-2025. 4	2025年度 目標 2025. 5-2026. 4	2026年度 目標 2026. 5-2027. 4	2027年度 目標 2027. 5-2028. 4
二酸化炭素排出量(*)	総量	kg-CO ₂	47,222	—	—	—	—
	原単位	kg-CO ₂ /百万円	157.4	156.2	156.1	156.1	156.1
電力使用量(購入電力)(*)	総量	kWh	12,960	—	—	—	—
	原単位	kWh/百万円	43.2	40.0	39.9	39.9	39.9
化石燃料(軽油)使用量	総量	ℓ	6,674	—	—	—	—
	原単位	ℓ/百万円	22.2	21.6	21.5	21.5	21.5
化石燃料(ガソリン)使用量	総量	ℓ	9,958	—	—	—	—
	原単位	ℓ/百万円	33.2	32.5	32.4	32.4	32.4
水使用量	総量	m ³	124	—	—	—	—
	原単位	m ³ /百万円	0.41	0.40	0.40	0.40	0.40
産業廃棄物排出量	排出量	t	956 (H24~29年の平均)	—	—	—	—
	原単位	t/百万円	2.7 (H24~29年の平均)	2.7	2.7	2.7	2.7
	再資源化率	%	100	97	97	97	97
一般廃棄物排出量		t	0.73 (H24. 5~H25. 4)	0.73	0.73	0.73	0.73
グリーン製品の購入		%	35 (H24~29年の平均)	35	35	35	35
環境に配慮した工事		件	全件(60件/60件)	全件	全件	全件	全件
エコ機器の取扱		件	53 (H24. 5~H25. 4)	54	54	54	54

9. 次年度の取組内容
(2)環境経営計画

期間：2024年5月 ～2025年4月

項目		活動内容	担当者
CO ₂ 排出量 削減	燃料使用量	○アイドリングストップ、急加速、急停車をしない	高橋 靖
	削減	○車両の整備、常時車載物の減量、空気圧のチェックを行う	
		○同一現場には乗合で行く	
		○建設機械の始業前点検をする	
	電力使用量	○事務室の室温管理（冷房：28℃ 暖房：20℃）	濱田 幸代
	削減	○不必要な照明の消灯、空調の停止	
		○長時間使用しないパソコン等電子機器を電源OFF	
		○最終帰宅者が事務所、パソコンの電源確認	
		○空調機器の清掃を年一回実施する	
	用水使用量削減 （排水量削減）		○洗車時のバケツの使用の励行
		○こまめに蛇口を閉める	
		○漏水点検	
		○洗車は可能な限り雨水や井戸水でおこなう	
廃棄物削減	一般廃棄物	○裏紙使用の実施	森岡 由華
		○新聞・両面使用済の紙処理は、古紙再生事業所へ	
		○ゴミは各自で持ち帰り処分する	
		○印刷前チェックによりミスコピーを削減する	
	産業廃棄物	○廃棄物を徹底して分別する	土居 隆司
		○産業廃棄物はできるだけ再資源化処理業者に委託し、再使用及び再生使用を推進する	
グリーン製品の購入		○消耗品などの使用は、エコ製品を優先して使用	北濱 鈴佳
環境に配慮した工事		○工事中の騒音・振動・粉じん・濁水の抑制に努める	山沖 和昭
		○低騒音型・排出ガス対策型の機械の使用	
エコ機器（エコット、節水型便器、LED照明など）の取扱		○エコ機器の販売を月に3件以上にする	
		○リフォーム工事においてエコ機器の設置をご提案する	
社会貢献活動		○公共交通エコポイント活用社会還元事業に参加する	森岡 由華
		○ロードボランティアに参加する	
		○こうち環境博に協賛	

10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守 状況	確認日
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	第3条	事業者の責務 事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理	必要時	川添 雅夫	遵 守	2024年5月24日
	第12条	産業廃棄物の事業者の処理 産業廃棄物の委託契約	必要時	川添 雅夫	遵 守	2024年5月24日
	第12条の10、11項	多量排出事業者（年間1,000t以上）の計画の都道府県知事への提出・報告	必要時	川添 雅夫	遵 守	2024年5月24日
	第12条の3	産業廃棄物管理票（マニフェスト）の交付	廃棄物排出時	川添 雅夫	遵 守	2024年5月24日
	第12条の37項	マニフェスト交付状況報告書の作成及び都道府県知事（高知県知事）への提出	年1回 毎年6月末	川添 雅夫	遵 守	2024年5月24日
	第14条 第14条の12項	産業廃棄物収集運搬業の都道府県知事の許可（5年毎に更新） 産業廃棄物処理基準による収集運搬、処分	期限切れ 3ヶ月前	川添 雅夫	遵 守	2024年5月24日
	規則第8条	保管場所の表示 見易い箇所に表示板を設置（縦60cm以上×横60cm以上）	必要時	川添 雅夫	遵 守	2024年5月24日
騒音規制法	第5条 第14条	騒音規制基準の遵守 特定建設作業の実施の届出（建設作業開始7日前までに市町村長に届出）	必要時 必要時	川添 雅夫	遵 守	2024年5月24日
振動規制法	第5条 第14条	振動規制基準の遵守 特定建設作業の実施の届出（建設作業開始7日前までに市町村長に届出）	必要時 必要時	川添 雅夫	遵 守	2024年5月24日
資源の有効な利用の促進に関する法律（リサイクル法）	第4条	土砂、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、木材等の減量化及びリサイクル	必要時	川添 雅夫	遵 守	2024年5月24日
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）	第5条	○建設資材廃棄物の発生抑制、分別解体等及び建設資材廃棄物の再資源化等費用の低減努力 ○建設資材廃棄物の再資源化により得られた建設資材を使用する努力	必要時	川添 雅夫	遵 守	2024年5月24日
	第9条 第10条	○分別解体等の実施 解体：床面積80m ² 以上 新築・増築：床面積500m ² 以上 ○対象建設工事は7日前までに都道府県知事に届出	必要時	川添 雅夫	遵 守	2024年5月24日
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律（フロン排出抑制法）	第5条 第41条	定期点検の実施 冷媒用フロン類の回収・破壊	必要時	川添 雅夫	遵 守	2024年5月24日
浄化槽法	第5条	○高知県知事に浄化槽設置届提出	必要時	川添 雅夫	遵 守	2024年5月24日
下水道法	第10条	○下水道に下水を流入させる為の排水管、排水渠等の設置	必要時	川添 雅夫	遵 守	2024年5月24日
高知県環境基本条例	第6条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	川添 雅夫	遵 守	2024年5月24日
高知市環境基本条例	第5条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	川添 雅夫	遵 守	2024年5月24日
排出ガス対策型建設機械の普及促進に関する規程		排出ガスの減少	必要時	川添 雅夫	遵 守	2024年5月24日

(2) 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

2023年5月1日より2024年4月30日まで、環境関連法規等への違反、訴訟及び外部からの苦情・要望等はありませんでした。
 なお、2010年4月1日より2024年4月30日まで、環境関連法規等への違反、訴訟及び外部からの苦情・要望等はありませんでした。

11. 代表者による全体評価と見直しの結果

■定期見直し

□臨時見直し

見直しに必要な情報				代表者による見直し	
環境管理責任者の報告及び改善提案				変更の必要性の有無・指示事項	
【取組状況の評価結果】 ①環境関連法規制等の遵守状況 2023年5月1日から2024年4月30日まで環境関連法規等への違反はありませんでした。				【環境経営方針】 変更の必要性：□有 ■無	
②問題点の是正処置及び予防処置の状況 2023年5月1日から2024年4月30日まで問題点の是正・予防となるものはありませんでした。				環境経営システムは有効に機能しており、環境経営方針の見直しはない。	
③前回までの代表者の指示事項への対応 指示事項はありませんでした。				□無	
<改善提案>				【環境経営目標・環境経営計画・環境管理組織体制】 変更の必要性：■有 □無	
【目標・環境経営計画の達成状況】				目標値未達成については、環境経営計画の活動内容の見直し及び取り組み強化を検討していきたい。	
目標項目	目標値 達成状況	活動計画 達成状況	コメント (目標値、活動計画に対するコメント)		
CO ₂ 排出量削減	○	○	今年度は目標を達成することができました。今後も厳しく取組めます。		
用水使用量削減	○	○	今年度は目標を達成することができました。今後も厳しく取組めます。		
廃棄物削減	△	○	今年度は産業廃棄物目標を達成できませんでしたが、施工内容には問題なく対応できています。今後も厳しく取組めます。		
グリーン製品の購入	×	○	個々の活動は概ね実施できている。		
環境に配慮した工事	○	○	今年度は機械を使用した工事が多かったため、環境に配慮した工事件数も増えました。		
エコ機器の取扱	○	○	今後も機器導入に取り組んでいきます。		
社会貢献活動参加	—	○	今後も積極的に取組めます。		
<改善提案>				【その他】 変更の必要性：□有 ■無	
【周囲の変化の状況】 ①外部コミュニケーション記録より 2023年5月1日から2024年4月30日まで外部からの苦情・要望はありませんでした。				環境経営システムは有効に機能しており、環境経営システムの変更の必要性はない。	
②環境関連法規制等の動向他 変更はありません。				【総括】 今年度は工事内容の偏りもあり産廃物が増えましたが、その他の項目はおおむね目標を達成できています。今後も環境経営目標が達成できるよう柔軟に対応、継続して環境活動に取り組んでいきます。	
代表者が自ら得た情報					
ありません。					